

第2
ステップ

B

はっそう の くんれん

おうちの方へ

第1ステップと同じように、ことばの発想力を養います。ただし、第1ステップよりも少し複雑な状況を描くことばを使えるようにします。さまざまな状況を空想し、それをことばにして表現する練習です。この練習によって、空想力を養います。同時に、ことばを少しいじるだけでまったく違った状況が目の前に浮かぶことを、お子さんに実感してもらえたいと思います。これを繰り返すうち、ことばの威力を知り、ことばの楽しさを知り、言語操作能力が増してきます。

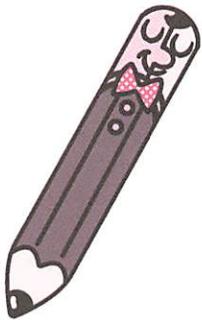
も
ん
だ
い
1

表現力をつける問題①

答えは、べっさつ

4
ページ

れいのように、（ ）の中に、赤字のものがどんなものかよくわかるようなことばを入れましょう。



おうちの方への アドバイス



さまざまな角度から見る力を養成します

表現力をつける問題の場合、さまざまな種類のことばを考えさせるようにしてください。たとえば、「れい」として示した問題も、「難しそう」といった本の内容を示すことばだけでなく、本の形、本の色、本の用途など、いくつもの方向から考えるように誘導します。そうすることで、さまざまな角度から見る力を養成します。

4

川かわべりに、（ ）
 （ ） **あざ**らしがねそべっている。

3

ゆめなの中で、（ ）
 （ ） **サ**メに食たべられそうになった。

2

家いえに帰かえってみると、テーブルうえの上に、（ ）
 （ ） **ケ**ーキがあつた。

1

わたしの家いえのにわには、（ ）
 （ ） **木**が**あ**ります。

【**答**えこたのれい】

【**も**んだいまのれい】

お父とうさんは、つくえまえの前まへにすわって、
 （ ） **本**をよんでいる。
 おたのずかしそうな／あつい／しごとの／
 楽たのしな／おもしろな……など。



5 どこからともなく、（ ）音が聞こえてきた。

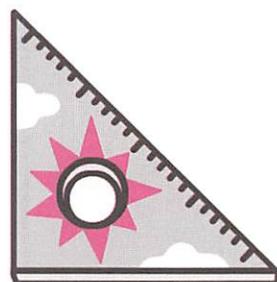
6 うちゅうには、（ ）うちゅう人がいるかもしれない。

7 あの（ ）女の人は、ロシア語が話せるらしい。

8 川の土手に、（ ）花がさいています。

9 とつぜん、（ ）ふくをきた男が、店いんにけんじゅうをつきつけて、「金を出せ。」と言った。

10 ももたろうが、おにがしまについてみると、そこには（ ）おにがーびきいるだけでした。



も

ん

だ

い

2

三

表現力をつける問題②

答えは、べっさつ

4
ページ

() の中に、ことばを入れて、そのよ
うすが目に見えるような文にしましょう。

1 しんちゃんは、いつも自てん車を

() へこぐ。

2 となりの家の犬が () 走っている。

3 いなずまが () 光った。

4 きゆうに天じょうから水が () おちてきた。



おうちの方への
アドバイス



いくつものことばを
入れさせてください

ここでの問題の場合も、最初に思いついたことばだけでなく、ほかにもいろいろなことばを入れさせてください。一つのことばを思いついたから、「できた」というのではなく、いくつものことばを考えさせることが大切です。どれだけのことばを思いついたか、おうちの方とお子さんと競争してみるのもよいでしょう。

5 風かぜがふいて、木このはを（ ）ゆらしている。

6 みどりちゃんはかぜをひいて、（ ）せきをしている。

7 お母かあさんは、いつも電話でんわでだれかと（ ）おしゃべりをしている。

8 すずきくんは、のどがかわいたので、水道すいどうの水みずを（ ）のんだ。

9 とつぜん、地じしんがあって、家いえが（ ）ゆれた。

10 わたしの妹いもうとはいつもおふろに入はいると、
ようち園えんでならった歌うたを

（ ）歌うたっています。



もんだい 3

三

理由を説明する力をつける問題

答えは、べっさつ

5 ページ

入れましょう。
 れいのように、() () の中^{なか}にことばを



【もんだいのれい】 「わたしは、犬^{いぬ}をかいたいと

思^{おも}った。なぜなら、

() ()。

【答^{こた}えのれい】 犬^{いぬ}をかうと、家^かぞくがふえる

ので、楽^{たの}しくなるからだ

テレビで、かわいい犬^{いぬ}の出^でて

くるドラマを見^みたからだ

おうちの方への
アドバイス



自分の欲求や主張について
きちんと根拠を示すことが大切

物事を論理的に述べるときに最も大事なこ
とは、自分の欲求や主張についてきちんと根
拠を示すことです。根拠を示し、相手を説得
する術が、これからの社会では大事なのです。

もちろん、小学校低学年の子どもがきちん
と根拠を示すのは難しいのですが、理由を説
明する練習をするのは大事なことです。

もしかすると、お子さんが示す理由は、「ほ
かみんなも持っている」「ほしいからほしい」
というようなものかもしれません。そのよう
な場合には、「それだけでは、お母さんは、許
してあげられないなあ。もっとほかに理由は
ないの?」というように、もっと説得力のあ
る理由を考えるように誘導してあげてくださ
い。そうして、楽しみながら、根拠を示す習
慣をつけるようにしてください。

なお、ここにあげた問題は、お子さんの実生
活に合わないものがあるかもしれません。た
とえば、お子さんがゲームに関心がない場合
など、少し問題を変えてください。そうすれば、
お子さんは現実感をもって考えられると思
います。

① 「こんどの土曜日どようびに、ゆう園地えんちにつれていってほしい。なぜなら、

(

)。]

② 「こんど出るテレビゲームを買かってほしい。なぜなら、

(

)。]

③ 「ピアノのレッスンに行いきたくない。なぜなら、

(

)。]

④ 「もう少しテレビを見みてから、お風呂に入はいりたい。なぜなら、

(

)。]

⑤ 「スケッチブックを買かってほしい。なぜなら、

(

)。]



おぼえよう！

なかまのことばを おぼえよう①

ことばには、いろいろななかまがあります。いみを^{かんが}考えて、なかまあつめをしてみましょう。

◎やおやさんのしなもの

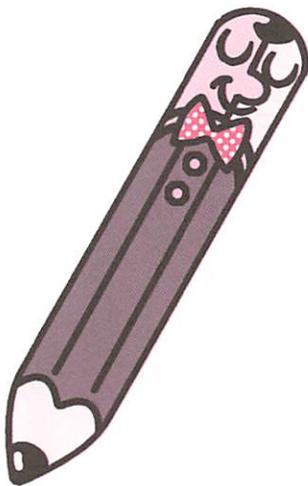
- やさい→きゅうり，ほうれんそう，だいこん，じゃがいも，キャベツ
- くだもの→すいか，みかん，バナナ，かき，りんご

◎^{じよく}食じのなかま

^{ちようじよく}朝食，^{ちゆうじよく}昼食，^{ゆうじよく}夕食

◎スポーツのなかま

サッカー，^や野きゅう，^{すい}水えい，バドミントン，スキー，マラソン，すもう，テニス



第2
ステップ



こうせいを まな 学ぶ

おうちの方へ

第1ステップに続いて第2ステップでも、物事を上手に語るための構成を学びます。物事を語る場合、いつでも起こった順に語ってあげばよいというものではありません。先に予告しておいて、その後でくわしく語るといったテクニクがあれば、聞いている人、読んでいる人にわかりやすく伝えることができます。ここでは、そのようなテクニクを身につけていきます。

ただし、まだ自分で文を書くのは難しいと考えられますので、ここでは、私たちの提唱する「ホップ・ステップ・ジャンプ・着地」の順に文を並べ替える練習を行います。こうすることによって、自然に構成の感覚を身につけてもらいます。

作文のきほんは

ホップ

ステップ
ジャンプ

着地

さて、これまでやさしい文しようの書き方を勉強してきました。これから、もっと長い文しようの書き方を勉強しましょう。そのため、まず「形」を身につけましょう。

むかしは、作文は「起承転結」*で書け、とよく言われました。それをみなさんにもわかるようにせつめいすると、「ホップ・ステップ・ジャンプ・着地」と

*「起承転結」ということは、小学校ではあまりつかいませんが、大切なことばですので、おぼえましょう。くわしいみは、国語じてんでしらべてください。



いうことになります。

つぎの四コママンガを見てください。

①はじめがホップです。ここでじけんがおこります。

②つぎがステップです。ホップのぶ分のつづきです。でも、これだけでは、マンガは少しもおもしろくありません。

③マンガをおもしろくするのが、つぎのジャンプです。ここからおもしろいことがおこります。ここから後をかきたいために、

前の二つのコマがあったわけでは

④さい後に着地をきめなくてはいけません。おもしろい話のときには、ここでわらわせます。

マンガは、どれも同じような形になっています。マンガだけではありません。アニメもドラマも、そうなっていることが多いのです。

みなさんもこのような形を上手につかうと、楽に作文が書けます。

前のページを読んでから、ア〜エの四つの文を「ホップ・ステップ・ジャンプ・着地」の形になるように、ならべかえましょう。

1

ア キのう、ぼくの家に、

新しい大がたテレビが来ました。

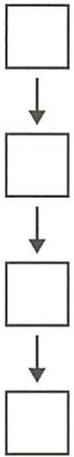
イ すると、お母さんが、テレビをけしてしまいました。

ウ ぼくと兄は、大はしゃぎでした。

エ でも、そのうち、アニメとクイズのどちらを見るかで、

けんかになりました。

答え



おうちの方へのアドバイス



頭ごなしに間違いだと断定しないでください

お子さんが、答えとは異なるが、それなりにつじつまの合うように並べ替えをすることがあると思います。その場合、頭ごなしに間違いだと断定せず、そのような並べ方も悪くはないものの、もっとわかりやすい並べ方があることを教えてあげてください。そうすることで、楽しみながら、さまざまな並べ方があることが身につきます。



2

ア お父さんは、自分が食べおわると、

ぼくらがまだ食べているのに、帰ろうとしたのです。

イ ぼくのお父さんは、とてもせっかちです。

ウ キのう、家ぞくみんなでレストランへ行ったときも、そうでした。

エ だから、ぼくは、お父さんとは、もう食じに行きたくはありません。

答え ↓ ↓ ↓

3

ア この時から、ぼくは、犬がきれいになったのです。

イ ところが、とつぜん、犬が目をさまして、大きな声でほえたのです。ぼ

くはびっくりして、後ろにひっくりかえりました。

ウ となりの家には、大きな犬がいます。

エ ある時、その犬がよこになってねていたので、ぼくは近づいて、頭をな

でようしました。

答え ↓ ↓ ↓

4

ア ぼくは、なんだか、しんごくんが、かわいいそうになりました。

イ ぼくは、しんごくんがいない時に、つくえの中をこっそりのぞいてみま

した。すると、そこには、きゆう食でのこした食パンの耳が入っていました。

ウ しんごくんは、つくえの中に、何か大切なものをかくしています。

エ キのうも、何かをつくえの中にこっそりかくしていました。もしかする

と、ひみつのたからものかもしれません。

答え

□ ↓ □ ↓ □ ↓ □

5

ア ところが、夕食のとき、ぼくがハンバーグを食べようとすると、中から

ママのゆびわが出てきたのです。

イ ぼくは、もうちよっとで、ママのゆびわを食べてしまうところでした。

ウ ぼくのママは、よく、ものをなくします。

エ 今夜も、ママは、夕ごはんをつくっている間に、はめていたゆびわをな

くしてしまいました。

答え

□ ↓ □ ↓ □ ↓ □